

## ～正しいワンちゃんのしかり方～

### お悩み

犬の正しい叱り方がわかりません。

一番困っているのは、自分の思い通りにならなかつたら、ケージのペットシーツをすぐにボロボロにしてしまいます。…私はまず言葉で『コラッ！！』と怒ります。

そして姉から教えられた“やり方”犬の口を掴む(母犬はこうして叱ると言っていました)、それを実行したら、私に歯向かい噛み付いてきます。だから大声で『痛い！』と叱ります。それでもまだ攻撃的な時は、犬が諦めるまで、私は犬の口を掴んで叱ります。シーツをボロボロにして食べているのを見たら『シーツは食べ物じゃない！！』と何回も言葉攻めにします(現行犯の時だけです)。

でも、姉からは、そんなのはしつけじゃない、力にもの言わせてビビらせているだけだと言います…そして姉は犬を慰めるだけです。

『しつけにならないからやめて』と言っても姉は犬ではなく、私を止めようとします。犬が噛んだから叱ったら、犬が『可哀相だ』と

確かに私の叱り方は厳しすぎると思うけど、“パピヨンは意思が強いから、若いうちにしっかりしつけて下さいね！！”と獣医さんに言われました。それをしっかり実行しているつもりなのですが・・・

私は間違っていますか？

愛犬：パピヨン オス 3ヶ月

## 「お答え」

1 ヶ月のパピヨンのベビーを家族に迎えられて2 ヶ月たったところですね。

育て方のことで、家族の中で意見が合わず、いろいろ迷っていられるのですね。

ワンちゃんの方もまだまだ赤ちゃんで、見るもの触るもの珍しく、不安もあると思います。この時期は、むやみに驚かせたり、怒ったり、怒鳴ったり、もちろん叩いたり、叩くフリもしないで育てましょう。これからの十何年かを人間と暮らす犬に「人間は怖いもの」と教えてしまうことになるからです。人間は優しく、頼りがいがあると教えなければなりません。あまりに子犬の時から厳しく教えようとしすぎると、成犬になったときに、なかなか心を開いてくれなくなる可能性があります。いろいろと教えたいこともあるでしょうが、まずは人間が大好きで一緒にいるのがうれしいと思う心を育てることを大切にしましょう。

ただペットシーツを噛んで遊ぶのは、間違っただけで食べてしまったりする危険もありますし、叱ると飼い主に噛み付いたりするのは、子犬のうちからしっかり止めさせる必要があります。

そのことを基本において、人間界に住む犬にとっては噛むことは無駄なことだと言う事を教えてあげましょう。噛むからと言って怒ってしまうと、余計に犬を興奮状態にし、直りにくくなってしまいます。

直し方は、噛みに来たときにしっかりと目をにらみ、怖い声、怖い顔で「いけない」などと叱ります。やめさせておいて、褒めます。叱ってやめさせた後に褒めることで、噛んだら叱られるけれども、噛まなかったら褒められると教えてあげます。噛んだら叱られるということよりも、噛まなかったら褒められるというほうに重点を置いた教え方のほうがワンちゃんにとってはわかりやすいと思います。

大事なことは、止めさせたい行動をしっかり叱って止めさせた後、それをしていない状態で十分に褒めてあげることです。叱りっぱなしにならないよう、心掛けてください。また本来犬は噛んで遊ぶことが大好きですし、これから歯の抜け替わりの時期を迎え、むずがゆいので何かを噛みたくなります。噛んでも良い玩具やタオルなどを与えてあげて一緒に遊んであげるのがいいかもしれません。この時も、噛んで遊んでも良いものといけないものをひとつひとつ教えてあげてください。

まだまだ、幼い子犬ですから、やっていい事といけない事を教えていくことで、安心して暮らしていける穏やかなワンちゃんと育っていくと思います。

焦らず、ゆっくりとがんばってください。